



# しんこうと神の**か**ことばに ついて**お**し教えるアルマ

だい29しょう



**ア**ルマはゾーラム<sup>じん</sup>人に、しんこうについて教えました。「しんじるために<sup>てん</sup>天からのしるしをもとめるのは、しんこうではありません。」(アルマ32：17-18)



「しんこうとは、まだ見ていない<sup>ほんとう</sup>本当のことをしんじることです」とアルマが言います。(アルマ32：21)



「<sup>ほんとう</sup>本当にしんじたいとのぞんで、<sup>かみ</sup>神のことばに<sup>みみ</sup>耳をかたむけるなら、<sup>こころ</sup>心の中にしんこうというたねがまかれ、ふくれはじめます。」(アルマ32：27-28)



「ふくいんをさらに<sup>まな</sup>学んでいくと、このたねは<sup>せいちよう</sup>生長しつづけ、それがよいたねであるとわかります。こうしてわたしたちのしんこうはますのです。」(アルマ32：30)



「よいたねがよいみをむすぶのと同じように、わたしたちがしんこうをもてば、<sup>かみ</sup>神のことばは、しゅくふくというみをむすぶでしょう。」(アルマ32：31, 41-43)